

ほっと通信



お正月も明け、寒さも厳しくなってきました。年度の締めくくりと、新たな年度への準備で忙しい時期でしょうか。

本年もよろしくお願いいたします。

「教育センター 特別支援教育担当」の紹介

私たちの部署「特別支援教育担当」は、市内小・中学校の巡回相談を行っています。巡回相談では、先生方、保護者の方と関わり、子どもの支援について一緒に考えていきます。人と人が関わる時、「関係性」というものがその間に生まれます。巡回相談がその子どもにとって良いものになるかは、巡回相談に関わる人たちの「関係性」が少なからず影響していると思います。「巡回相談で来校する人はどのような人か」を知っていることで、巡回相談でお会いしたとき、先生方の話しやすさや聞きやすさが増すのではないかと思います。このようなことを考え、本号では私たち部署を紹介します。

<メンバーの紹介>

教育センター 特別支援教育担当には、市の職員(1名)、市立学校管理職経験者の研究主事(3名)、心理士(4名)の計8名がいます。

- <主査>①氏名：峯尾義光(みねおよしみつ)
②職業：国民健康保険課→保育課→学務課→住民税課→指導課
③資格：なし(教育センター職員では少数派)
④好きなもの：次男の諭吉(ヨークシャーテリア)
⑤好きな言葉：ユー(諭吉の愛称)
⑥休日：諭吉に遊んでもらったり、妻とお蕎麦やラーメン巡り
⑦先生方へのメッセージ：普段のご苦勞をほとんど知らないのに、巡回相談では、いろいろなお願いをしてごめんなさい。
⑧知る人からの人柄紹介：温厚、控えめで、相づちをしながらよく話を聞いていらっしゃって、ほどよい時にいい感じのパスをくれ、心理士さんとのコンビネーションは絶妙です。メンバーの要的存在！と感じています。

- <研究主事>①氏名：加藤敏夫(かとうとしお)
②職業：9年間民間企業に勤務。31歳で教職員となる。町田市で1校、八王子市で6校に勤務。
③資格：小学校第一種全科
④好きなこと：美味しいものを探し、食べること。ゆったりとコーヒーを飲むこと。
⑤好きな言葉：継続は力なり
⑥休日：ガーデニング、ウォーキング、パン・ケーキ作り
⑦先生方へのメッセージ：健康が第一であること。難しい時代です。一人で抱え込まないでください。周りにはいっぱい応援団がいますよ。
⑧知る人からの人柄紹介：14、5年前のこと。「もしこの仕事に就いていなかったら？」の問いに「う～ん、僕は喫茶店のマスターになりたかったなあ」との返事。放課後の職員室でおいしいコーヒーを淹れて皆の話を笑顔でよく聞いてくださった。あの頃の「笑顔と聞き上手」は今も健在！！



<研究主事>①氏名：川口法正（かわぐちのりまさ）

②前職：市内中学校で保健体育科教諭。東京都教育庁スポーツ振興課で東京シティマラソンの企画運営等。その後市内3校で管理職として勤務

③資格：社会教育主事

④好きなこと：町中歩き、旅行、読書

⑤好きな言葉：継続は力なり

⑥休日：ウォーキング、様々な舞台芸術、芸能等の鑑賞。

⑦先生へのメッセージ：先生方の「子どもたちのために」の気持ちが良く伝わってきます。健康や自分のやりたいことも大切にしながら頑張ってください。少しでもお手伝い、お役に立てればと思います。

⑧知る人からの人柄紹介：川口先生の「一面桃色に染まるんだよ」の一言から、毎年春の勝沼に桃の花を見に行くようになりました。「あの店の冷やしたぬきそばは絶品なんだ」の一言から、すっかりそば好きになってしまいました。川口先生は素敵なものを見つけ、それを魅力いっぱい伝えてくれる名人です。



<研究主事>①氏名：菊地敬子（きくちけいこ）

②前職：長房小学校

③資格：小学校全科、中学校国語、高校書道・国語

④好きなもの・こと：柑橘類、声を出すこと

⑤好きな言葉：克己

⑥休日：レッスンに行く、通院

⑦先生へのメッセージ：子どもを愛することを忘れないでください。

⑧知る人からの人柄紹介：いつも子どもたちや保護者の方の気持ちに寄り添って、一緒に考えてくださいます。また、私たち職員にはユーマアのあるお話もして下さる、楽しく相談にのってくださる先生です。



<心理士>①氏名：太田真紀（おおたまき）

②前職：小児科のクリニックで発達相談

③資格：臨床心理士

④好きなこと：夕飯を食べながら子どものおしゃべりを聞くこと

⑤好きな言葉：のんびり、ゆったり

⑥休日：平日手が回っていない家事と子育てに追われています。

⑦先生方へのメッセージ：子どもたちを思う先生方の熱い気持ちを感じています。子どもたちのために、お手伝いできることがあれば嬉しいです。

⑧知る人から人柄紹介：にこっと微笑んで見つめられると、何でも話したくなってしまいます。どんなことでも聴いてくださり、うなずいてくださるからです。きらっと眼鏡の奥を光らせ、トントンと考えを述べられます。

<心理士>①氏名：頼母木直人（たのもぎなおひと）

②職業：他県中学校スクールカウンセラー（現職）、他市教育センター教育相談員、都内小学校学校派遣相談員他（前職）

③資格：臨床心理士、色彩能力検定2級

④好きなこと：フットサル、サッカー、スノーボード、ファッションに関すること、ラーメン、温泉

⑤好きな言葉：適度

⑥休日：フットサルのために遠征する、買い物

⑦先生方へのメッセージ：先生方が子ども、保護者の方と向き合うお手伝いができたら嬉しいです。

⑧知る人から人柄紹介：信念をもった人。子どもの立場に立った熱い気持ちは揺らぎません。信念があるからこそ、柔軟な連携ができる人です。疑問点は遠慮せずすぐに質問してください。親しみやすい人柄で、優しく丁寧に答えてくれます。

<心理士>①氏名：中村桂子（なかむらけいこ）

②前職：小学校のスクールカウンセラー

③資格：学校心理士、特別支援教育士等

④好きなもの：北欧の食器、ふくろうのモチーフ、装丁の美しい本

⑤好きな言葉：宮沢賢治の「あすこの田はねえ」の最後のところ

⑥休日：カメラを持ってあちこちの街に出かけるのが好きです。

⑦先生方へのメッセージ：幸せな子ども時代を過ごした人は、それが静かな力になると、ある本の一節にありました。どの子にもそんな子ども時代をと思います。一緒に子どもの未来を拓いていけたら嬉しいです。

⑧知る人から人柄紹介：その笑顔にホッとします。児童観察後の担任へのアドバイスや、保護者への子どもの長所・関わり方を一つひとつ丁寧に笑顔を交えながら伝えてくださいます。



<心理士>①氏名：渡瀬 恵（わたせめぐみ）

②前職・現職：教育相談、スクールカウンセラー、発達相談、療育、乳幼児健診…など

③資格：臨床発達心理士 ④好きなもの：ピアノ、電車、カメラ、旅、ねこ、スポーツ、トトロ…

⑤好きな言葉：笑顔 😊 ⑥休日：のんびり

⑦先生方へのメッセージ：学校におじゃますると子どもたちのがんばる姿、飛び交う声や笑顔にいつも元気をもらっています。一人ひとりの良さを見つけ、伸ばしていくお手伝いが少しでもできると嬉しいです。気になるお子さんがいるとき、学校やセンターでお会いしたとき、ぜひ声をかけてください。

⑧知る人から人柄紹介：いつも優しく、笑顔で話をしてくださる渡瀬さんです。その児童にとってどうすることが良いのか、家庭や学校ととても親身になって考えてくださいます。児童の学習面や生活面等でちょっとでも気がかりなことがあったときにいつもお世話になっています。

キーワード

私たち部署の巡回相談



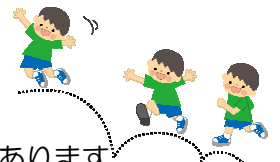
<ねらい> 特別な配慮や支援を必要とする子どもが、より豊かな学校生活を送ることをめざしています。先生方と私たちは教育や心理といった各々の専門の立場から、保護者は養育という立場から話し合い、子どもに関する理解を深めたり、支援に関する知恵を出し合います。

<内容> 対象は、保護者の了解が得られた子どもです。学校からの依頼を受け、巡回相談員（心理士、管理職経験者等）が学校に出向きます。1～2時間の授業参観後、ケース会議を行います。ケース会議は、放課後や担任の先生の空き時間に設定しています。その後、必要に応じて保護者を交えたケース会議、発達検査（WISC-Ⅲ）を実施します。検査は、授業参観した相談員が、放課後、学校で実施します。（参照：八王子市特別支援教育ハンドブック p.20-21）

<巡回相談を受けた、ある先生の感想>

学校での様子から「あの子は、何か困っているのではないだろうか」と思い、保護者と話をすると、「何に困っているのか」「どう支援してあげると、いいのか」という点で、話が行き詰ることがあります。しかし、特別支援教育担当の方に同席してもらうことで、保護者と子どもを理解し合えたり、学校や家庭での支援をイメージしたりすることができました。

医療機関で検査をとる場合、保護者を通じて医療機関とやりとりするために、学校での様子を十分に伝えられなかったり、検査結果の意味が理解できなかったりすることがあります。特別支援教育担当の場合、子どもの学校での様子を見た人が、検査をとります。また、保護者と教員が同じ場で検査結果の説明を受けます。これらのことから、特別支援教育担当の巡回相談は、保護者と学校が子どもに関する共通理解を持ちやすいと感じています。



<より有効なものにするために；情報の共有>

巡回相談の情報を校内で共有することは、とても大切です。それには2つの理由があります。

- ① 子どもへの支援内容を共有し、多くの先生方が関わって取り組むことができるようになるから
- ② 巡回相談で話し合われた内容を、他の子どもの支援に活用することができるようになり、特別支援に関する校内の取り組みが進んでいくから

巡回相談を通して子どもを支援する立場ですが、私たちは巡回相談を通して、勉強したり成長する機会を持たせていただいていると思っています。今後ともよろしくお願い致します。（文責：心理士 太田真紀）

ぽけっと

「聴く」ことの重要性 ～心の発達を促すために～



★ 心の発達とは…

発達は身体的発達、知的発達だけでなく、心の発達（情緒発達）という側面があります。心の発達は気持ちをコントロールしたり、表現したり、抑えたりという力が育っていくことを言います。人はこの力によって苦手な場面を乗り越えたり、自分の気持ち（欲求や不安等）を抑えて周囲に合わせたり、相手の気持ちを理解したりすることができます。心の発達は教えることで進むものではありません。自らの気持ち（ポジティブ、ネガティブを問わず）を周囲の人に受け取られ、認められる体験を繰り返すことでゆっくり進んでいくと考えられます。

★ 「聴く」とは…

子どもたちが見せる色々な行動の背景には、子どもなりの事情や理由、そして「気持ち」があります。「気持ち」を受け取るためには、その行動に至った事情や理由を「聴く」ことが大切になります。その「聴く」は、ただ「聞く」ということではなく「気持ちを受け取る」ことを意味します。そのためには事情や理由がいかに理不尽なものであろうとも、それが**絶対**に否定されないことが必要です。なぜなら、事情や理由が否定されることは、その中に含まれる「気持ち」まで否定されることになるからです。「気持ち」は受け取られるけれど、やってしまった行動については叱られる、という過程が大切です。事情や理由が否定されないことで（気持ちが受け取られることで）、心の発達が進み、感情をコントロールする力が高まっていきます。このように心の発達が進んでいく中で、やってしまった社会的に許されない行動について叱られると、行動の修正につながっていきます。

★ 話しても仕方がないと思っている子どもたち

発達に偏りがあったり、かなり傷ついてきた子どもたちは、この事情や理由があまりに理不尽、理解不能であったりするために周りに受け入れられないことがあります。そのような子どもたちの中には、「話しても仕方がない」という悲観的な思いが染みついていることがあります。そのために聴いたが答えない、ということもあります。しかし、答えないから聴かないでは、彼らの心の発達は止まったままになってしまいます。繰り返し「聴く」という周囲の姿勢も、心の発達を進める上でとても重要なものだと思います。

★ 感情が先立って、怒ってしまっても…

「聴く」ためには、「聴く」側も感情をコントロールする必要があります。そのためには「なぜ、何のために聴くのか、叱るのか」を意識しておくことが大切です。それでも、叱る、怒るが先に立つこともあると思います。そんな時は振り返って、気持ちを否定したことだけ子どもに謝る。そのことが折れかけた子どもの心を救ってくれる、そう思っています。

（文責： 心理士 頼母木直人）

巡回相談のご案内

特別支援教育担当の心理士・研究主事などが、授業観察および聞き取り、ときには発達検査などを通して、発達の特性を見立て、先生方と一緒に校内での支援について考えていきます。

まずは電話でご相談ください。相談の進め方をご案内いたします。

電話予約→情報共有→日程調整→巡回訪問→（状況により継続相談）

特別支援教育担当： TEL 664-1615（直通）

